

ガッコ親父の

松次郎は「IT」が時代のキーワードだと思っていたが、最近の世の中はもう「AI（人工知能）」一色だ。その激変ぶり、島の超特急と言われた足速の松次郎でも、卒倒しそうな速さである。さらに「AI」が人から職を奪うという話が、ネットやテレビ、週刊誌をにぎわしている。いやでも松次郎の目に飛び込んでくる。

次男の学（まなぶ）の職種も「AI」に取って代わられる可能性が高い。人の手と汗がものを言う松次郎の建築現場とは違う。しかし、学からは「職を整理される」危機感など全く感じられなかった。相変わらずのほほんとしている。

日曜日の午後、「しまっちゅ伝蔵」を飲んでいた松次郎は「学、ちよこ、一杯やらんか？」と機嫌良く声を掛けた。結婚前までは、このパターンからよく親子喧嘩が始まったものだった。最近はずいぶん親父も丸くなったものだと思いつつ、松次郎の前に座った。

「Sunno、お前の職場は大丈夫なんだろうな？若い子も多いとか言ってたし」

「なんだろう、いきなり」と学は首を傾げた。「俺も得意じゃないし、大きな声では言えんけど」と前置きをして、実はAIのことなん

だが、と聞こえた。職場で愛とか言えば、既婚者にとっては不倫イメージに繋がる危険な言葉でもある。びっくりした学は「俺はそんなもん興味もないし、これから先も絶対にはしようとは思ってないよ」と鼻で笑った。

いきなり笑われた松次郎にアドレナリンがあふれかえった。息子のこれからを案じて、不得手なAIのことで話しかけたのに、それなのにこいつは！と、久しぶりにキレてしまった。「なに？、興味もないし、絶対にはしないだ。将来に向かって家族を背負う責任感はないのか！心配してやっていると、松次郎は声を荒げて、コップの底を卓上に振り下ろした。ガツン。「だから、そんなことはしないと

言ってるのに。不倫なんかするわけないだろ。急に愛とかバカみたい」

松次郎は目を丸くした。「フリンってなんだ？夏もずいぶん前に終わったのに、今更、フリンでもないぞ」と毒を吐いた。そして少しの沈黙の後、急に謎でも解けたようにへへっと笑い始めた。

「お前の耳はイボか？俺は愛とか不倫とかのことなんか言っていないぞ。英語のAIのことと話をしようと思っただけだ」と学に言った。学はまさか松次郎が人工知能のことで話しかけてくるとは、夢にも思わなかったのである。

ガツンと大きな音がしたので妻の貴代が飛んできていた。「倒れて頭を打ったかと思っただわ。脳溢血じゃないみたいだね、良かった。歳も歳だし」

「余計なこと言わんでもいいー！」「は、は、は、一回でいいー！」

その時、縁側の風鈴がチリリンと季節外れの音を立てた。あら、仕舞い忘れていたわ、ずっと暑かったからね。と言いつつ、しなから貴代は縁側に走った。



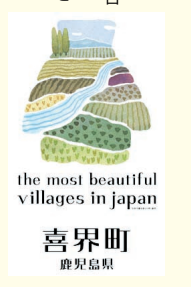
奄美黒糖焼酎
常圧蒸留
昔ながらの手造り
こだわり焼酎
喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokのある味と香りです。



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12
☎0997(65)0251

25度
好評発売中

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造は、この活動を応援しています。



えっ？愛に乾杯！！

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。